

かわaura



河浦まちづくり協議会 事務局

天草市河浦町河浦

5253

天草市河浦支所まちづくり推進課まちづくり係内

TEL 76-1111

◆会長あいさつ◆

平成 30 年度より河浦まちづくり協議会会長となりました、新舎出身の本多常義です。「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に7月4日に登録となり、週末には五百人前後の観光客が崎津集落を訪問する程好評です。

河浦まちづくり協議会では、エンジョイミニバレー大会や地区対抗総合球技大会などのスポーツ事業の他に、まちづくりチャレンジ事業として平成 27 年度から「河浦まちづくり計画5策」を行って4年目となります。今年度は、元ALTY地域おこし協力隊のご尽力で、歴史文化探索マップの英語バージョンの出版や、のれんやバンダナなど土産物の試作も挑戦し、河浦地域をPRするグッズとして誕生しました。

世界文化遺産の地として河浦が注目されています。河浦町内全域がイキイキとした活動に繋がるよう、皆さんの力を集結し更なる河浦の発展を祈念します。活動のまとめを掲載しましたので、ご一読ください。

河浦まちづくり協議会長 本多常義

たくさんの方々から「ふるさと応援寄附金」をいただきました

「河浦まちづくり協議会」に平成 31 年3月までに、石田様（東京都）、野口様（東京都）、藤井様（愛知県）、田河様（埼玉県）、植田様（東京都）、竹口様（東京都）、三宅様（東京都）、大土井様（広島県）、柿木様（茨城県）、三宅様（東京都）、川口様（熊本県）、亀田様（熊本県）、小山様（愛知県）、平野様（兵庫県）、池田様（熊本県）、梶田様（東京都）、白井様（岐阜県）、石川様（愛知県）、吉永様（東京都）、ほか匿名 19 名の合計 42 名の方から 96 万円（純寄附 50 万円）のふるさと応援寄附金を頂きました。ありがとうございます。お礼品として、天草の生うに、黒毛和牛コーススライス、しゃぶしゃぶ用豚肉、活き車エビ、干物旬のおまかせ、トラフグ、メカブ・ワカメセット、デコボン、晩柑、パルル柑、ブリワイレ、天草厳選宿のお泊りプランなどを発送しました。寄附金は、河浦小学校6年生校外学習、簡易デント購入、河浦歴史文化のまちづくり探索マップのバンダナ、のれん等の土産物の作成活動に活用していきます。



「天草の崎津集落」の世界遺産 中学生ボランティアガイド活躍中

10月16日に河浦中学校にて中学生観光ボランティアガイド養成講座の修了式が行われ、14人が新たなガイドとして誕生しました。中学生ガイドは天草ぐるっと周遊バスのBコースで、月一回、第3日曜日に行われます。ご体験ください。

「後期河浦まちづくり協議会計画」が策定されました

2019年度から2022年度までの4年間の「後期河浦まちづくり協議会計画」が3月12日に策定され、第2次天草市総合計画の後期基本計画の一部として掲載され、市議会で承認されました。河浦地域のまちづくり計画の目標は、「ひと・もの、自然、そして世界遺産。ぜんぶ活かしたまちづくり」をスローガンに、①観光文化部門では、地域資源を活かしたフットパスや体験ツーリズムの実施とSNSを活用した地域イベントの情報発信など。②地域振興・教育部門では、公民館と連携した体験型講座の推進と北海道浦河町との人的交流能推進、③生活環境・防犯部門では、地域の景観保全事業の推進と、自主防災活動の推進支援、④産業・経済部門では、地域の魅力ある特産品づくりの発掘、支援と道の駅などでの河浦物産の販売やふるさと宅配便の販路拡大や、地域の基幹産業を守る後継者育成に取り組むなどを目標としています。また、新合地区振興会では、「少子高齢化の中でも活気あるまちづくり」、一町地区振興会では「明るいふるさととの創造」、富津地区振興会では、「世界文化遺産を活用した「崎津・今富」の魅力発信と保全」、宮野河内地区振興会では、「明るく生きがいのあるまちづくり」を目標にしています。まち協と地区振興会が力を合わせて、地域の問題解決に新年度も取り組んでいきます。

第24回「かわうらエンジョイミニバレーボール大会」が開催されました！

市民の健康づくりと親睦のため、「第24回かわうらエンジョイミニバレーボール大会」が開催され、河浦町内の区対抗戦でおこなわれ、43チームが和気あいあいと熱戦を繰り広げました。

期日：6月10日（日） 8時半開会
会場：河浦中央体育館

【結果】

- 男子フリーの部 優勝：白木河内区、2位：今村区、3位：上津留区、久留区
 - 男子40歳以上の部 優勝：白木河内区、2位：宮野河内、3位：久留区
 - 女子フリーの部 優勝：白木河内区、2位：下田区
 - 50歳以上混合の部 優勝：葛河内区、2位：白木河内区、3位：久留区 A
- 選手の皆さんお疲れさまでした。



平成30年度「地区対抗総合球技大会」が開催されました

9月23日（日）河浦まちづくり協議会主催の「地区対抗総合球技大会」が河浦総合運動場を主会場に行われました。住民の親睦を深めることなどを目的に毎年開催されています。

競技は町内5地区対抗で野球やゲートボール、バレーボールなど全12種目で競われました。総合優勝を目指し各種目が熱戦を展開。その結果、下一町田地区が総合優勝しました。



和菓子講演会・教室が盛況に開催されました

6月23日（土）にまち協と公民館の共催で一町田コミュニティセンターにて開催されました。講師は川尻町の片岡圭助さんの講演会には60名の参加があり、「本業の技術を生かす地域活動」の演題でご自身の子供の頃のことから「まちおこし」まで面白おかしいお話しのあと、講演会場にてお菓子作りの実演をされました。先生の手さばきに見惚れ、出来上がった和菓子の美しさに感動しました。

休憩時間にはお菓子販売があり、午後からは和菓子作り教室も開催され約30名が体験しました。それぞれに懸命に取り組み、なんとか形にはなったようです。



「しめ縄づくり講習会」を開催

12月11日に「一町田」ミセン前の広場で、「河浦まちづくり協議会の④福祉のまちづくり」の計画の中の「しめ縄づくり講習会」が開催され、約20名の参加がありました。



河浦小中学校児童生徒が北海道浦河町を訪問しました

河浦小中学校児童生徒が8月22日から25日まで3泊4日で浦河町を訪問し、交流を深めてきました。隔年での訪問は、事前の面接などで選ばれた河浦小5・6年と河中1年の8名と、引率5名の総勢13名が参加。初日は台風19号の影響でバス移動に変更。飛行機で福岡から新千歳空港に午後2時半に到着後、さらに3時間バスにゆられ宿泊先のアエルに夕方到着。夕食は自分たちで浦河の魚介類をさばく体験で、真つ貝やイカを慣れない手つきでさばき、夕食の海鮮丼の具材として頂きました。

翌日は、2名ごとに別れ、東部小、浦河小、浦河第二中、荻伏中を訪問。交流授業では自己紹介を含め崎津集落などの紹介や浦河について学びました。なかでも浦河小学校で交流の6年生は同級生の自宅から一緒に登校し、NHKの密着取材もありました。午後は町営乗馬公園で乗馬を体験。降りる際は馬をなでて感謝する作法や餌の食べさせ方も学びました。



3日目は、ゆかりの会の案内を受けて杵臼神社参拝後、JRA施設を見学し、浦河町役場にて町長表敬訪問。午後より札幌へ移動し、札幌オリンピックミュージアムや札幌ドームを見学。スキージャンプやスピードスケート、ボブスレー滑走など貴重な体験ができ、みんな感動していました。

最終日は、札幌市内見学後(時計台、大通り公園など)、帰路に。帰るも台風の影響が心配されましたが無事、新千歳から福岡へ天草空港で河浦に到着しました。

今回交流で児童生徒は、河浦町と浦河町が友好交流都市提携締結に至った歴史的絆と、北海道の気候風土の体験を通じて、物事を考える視点を変え視野を広げることができ、自らの郷土理解を深めました。小学校での交流では同年代との友情を育み、心身の成長につながりました。

さらに、今回の交流がきっかけで、2月27日には浦河小学校と河浦小学校はインターネットのスカイプを使つての交流授業も開催され、熊日新聞でも大きく取り上げられました。

浦河地場産品直売フェアにて河浦有志がミカン販売

11月30日から12月3日までの日程で河浦まちづくり協議会委員及び池田裕之市議や新合区長など有志12名が北海道浦河町を自費で訪問しました。これは、12月2日(日)に開催の「浦河地場産品直売フェア」に河浦のミカン約3.4トンを直接販売し、浦河町を盛り上げる目的で参加したものです。



河浦町と浦河町は、明治4年に、旧河浦町の住民らを含む「天草開拓団」が浦河町に入植した経緯や名前が似ている事がきっかけで交流が開始され、平成27年に旧河浦町と交流が開始され、平成27年に天草市と友好交流都市に締結されました。

会場の浦河第一中体育館には、千五百人の住民が来場し、特に河浦ミカンの販売コーナーには、1時間前より約20mの長蛇の列ができ、販売開始の10時には、飛びようにミカンが売れて行きました。

“地産地消”を目的に開催され28回目となるフェアには、浦河を代表する新巻サケやタラコ、開きホッケなどの水産加工物も大量に販売されており、前日のミカン販売の準備では、浦河町長もミカンの袋詰めをされるなど、浦河町は活気があり、「以前は河浦でも開催していた産業文化祭を復活できれば」と思いました。

他には杵臼神社やJRA日高育成牧場、東部小学校、文化会館、乗馬公園なども視察もでき、浦河町の雄大さを充分に実感してきました。

『特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会』に千百名が参加

10月14日(日) 天草市河浦総合運動場で「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が行われました。今回は崎津集落の世界文化遺産登録記念ということもあり、早朝にもかかわらず、千百名あまりの方に参加いただきました。

中村市長も参加され、まだ暗い中、準備運動、声だしリハーサル、始まりの歌の練習などを行い、秒読みで本番が始まりました。無事拍手で本番を終えた際には安堵の声が聞かれました。

その後は体操指導員によるワンポイントレッスンがあり、手の上げ方、胸の開き方などの指導を受けました。皆さんそれぞれにゆるキャラ(かんぽくん)と記念写真を撮ったりして帰路につきました。



「河浦歴史と文化探索マップ」英語版が完成。そのデザインを基にクリアファイルやバンダナ・のれん等のお土産物グッズも完成しました。

「河浦歴史と文化探索マップ」の英語版が元天草市A.L.TのERIさんと地域おこし協力隊の伊藤さんとの共同作業で完成し、熊日新聞(9/27)に取り上げて頂きました。日本語版の説明がかなり詳細にわたっており、英訳に際しては歴史的背景の確認等に苦労されていきました。河浦全体を俯瞰するマップなので、英語圏の方が「河浦を知りたい」と思った際には大変便利かと思えます。南蛮文化に加えクリシタン関連の説明もしっかりされています。また、12月には日本語と英語のクリアファイルが完成し、セット三百円で販売が開始され、2月末にはバンダナ(日本語版、英語版、各千五百円)と、のれん(日本語版のみ、二千円)も個数限定で販売が開始されました。河浦訪問時のお土産として、是非、お買い求めください。



「おじやる言葉のイソップ物語」講演会が4月に開催され、1月には本300冊の寄贈がありました。

4月15日(日) 天草コレジヨ館で「おじやる言葉のイソップ物語」の著者・加藤睦子さんの講演会が天草コレジヨ館で開催され、約70名の方の参加がありました。講演前には木戸博義さんによる古楽器リユートの演奏もありました。

戦国時代に河浦のコレジヨにて宣教師用にラテン語で印刷されたイソップ物語の本を大英博物館で加藤さんが見つけ、10年の歳月をかけて和訳し、さし絵も自身で描かれて出版されました。内容は「アリとキリギリス」など72話が収録されています。講演会では河浦で印刷された歴史的価値をもっと評価し、歴史文化の情報発信をさらに推進して欲しいと話されました。

また、さらに1月には、同書『天草いそっぱの物語』を加藤さんより河浦町内の小中学校の全児童生徒に1冊ずつ約300冊も寄贈されました。河浦町の図書館にもありますので、是非ご覧ください。



河浦地区文化祭が開催されました

文化協会主催で11月25日(日)に一町田コミセンで河浦地区文化祭が開催されました。展示スペースでは、書道や絵画、絵手紙、編み物、クラフト作品に加え、陶芸作品の展示、販売、舞台では、大正琴、フラダンス、現代舞踊、コーラスなどが行われました。芸術文化協会交流事業三曲会の演奏、崎津ハイヤも披露されました。

31年度は北海道浦河町のアイヌ文化保存会が11月24日に河浦地区文化祭へ13名で訪問し、アイヌ伝統文化の踊りの披露が予定されています。盛会を期待します。



編集後記

例年より一週間早く桜の季節の訪れに加え選挙も行われるなど、慌ただしい時期ですね。新年度も元気に過ごしましょう。